

過去の学力・学習状況調査の結果から分かったことの一つは、学力と学習・生活環境は大いに関連性があり、「学力は家庭学習で向上する」ということです。小学校の学習は、将来児童が社会人として自立するために基礎となる大切なものです。学校で児童の学力向上に取り組んでいくと同時に、学校と家庭が連携することで、学習内容がより確かに定着し、学力が伸びていくと考えます。

この「家庭学習の手引き」は、本校の学力・学習状況調査の結果や児童の実態を踏まえて、全教職員で話し合い、家庭学習の進め方についてまとめたものです。お子様と一緒にご覧いただき、家庭学習の手助けとしてご活用いただければ幸いです。

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身に付けるために、また、自ら学ぶ習慣を身に付けるためにとても大切なものです。小学校のうちに机に向かう習慣が後々の家庭学習に大きな影響を与えます。今のうちに身に付けさせましょう。

また、睡眠をきちんととることがとても大切です。深い眠りに入ったとき、脳の中で自然にその日に学んだことをおさらいしています。「午後9時には就寝」を目標にしてみましょう。

1 家庭学習の仕方

- ① 宿題を最初にします。
- ② 「家庭学習の手引き」（児童用）の中から選んでします。
- ③ どうしても勉強に飽きてしまうときは、読書やお絵かきでも構いませんので（特に低学年）、必ず机に向かうようにします。「机に向かう」という習慣が大切です。
- ④ 勉強が終わったら、連絡帳を見て次の日の準備をします。鉛筆を削り、準備物をしっかりと整え、明日の学習予定をしっかりと頭に入れておくように心掛けます。

2 時間のめやす

1年生……20分以上	2年生……30分以上
3年生……40分以上	4年生……50分以上
5年生……60分以上	6年生……70分以上

3 家庭学習における保護者の役割

- ① **学習時間の確保**
塾、習い事、スポーツなど、子どもたちもいろいろと忙しいと思いますが、短い時間でも、「必ず机に向かう」習慣を身に付けることが大切です。「何時から何時まで勉強する」ということを、家庭でよく話し合って、無理のない時間設定にしましょう。
- ② **学ぶための環境づくり**
お子様が、落ち着いた学習環境で学習できるように、家庭で工夫したり話し合ったりしてみましょう。（例えば、テレビをつけながら勉強をしても、効果は上がりません。）
- ③ **見届け・励まし**
子どもが学習したことにできるだけ目を通し、声を掛けましょう。ほめたり励ましたりすることで、お子様はどんどんやる気を出します。音読などのがんばりカードには、できれば毎日、あるいは1週間に1回は、コメントを書いたり、スタンプを押したりなどの見届けをお願いします。また、お子様の様子を把握しながら、できるだけ一緒に取り組んでくださるようお願いいたします。
- ④ **学校との連携**
お子様の学習の様子で気付かれたことは、担任にお知らせください。
家庭学習がんばりカードの保護者欄に月一回の記入、ご協力をお願いします。